



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月28日

上場取引所 東大

上場会社名 エーザイ株式会社

コード番号 4523 URL <http://www.eisai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 内藤 晴夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役 コーポレートコミュニケーション担当 (氏名) 松江 裕二

TEL 03-3817-5120

四半期報告書提出予定日 平成22年11月5日 配当支払開始予定日 平成22年11月17日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	412,283	4.4	67,191	36.8	62,167	37.5	39,949	29.2
22年3月期第2四半期	394,982	△1.0	49,119	5.5	45,197	3.6	30,922	7.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	140.21	140.20
22年3月期第2四半期	108.54	108.52

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	1,064,236	404,633	37.5	1,399.18
22年3月期	1,101,910	421,740	37.7	1,459.74

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 398,677百万円 22年3月期 415,935百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	70.00	—	80.00	150.00
23年3月期	—	70.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	80.00	150.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	795,000	△1.0	116,000	34.2	107,000	34.3	70,000	73.5	245.68

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.13「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	296,566,949株	22年3月期	296,566,949株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	11,629,885株	22年3月期	11,629,379株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	284,936,537株	22年3月期2Q	284,905,036株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値・予想の前提条件その他に関する事項については、10ページをご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	(ページ)
1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
2) 当3カ月間の経営成績	4
3) 研究開発などの状況	5
4) 連結財政状態に関する定性的情報	8
5) 利益配分に関する考え方および当中間(第2四半期末)配当	9
6) 平成23年3月期の連結業績予想	10
7) コーポレートガバナンスに関連する事項	12
2. その他の情報	
1) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	13
2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更	13
3. 四半期連結財務諸表	
1) 四半期連結貸借対照表	14
2) 四半期連結損益計算書	16
3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	18
4) 継続企業の前提に関する注記	19
5) セグメント情報	19
6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	20
7) 注記事項	21

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

1) 連結経営成績に関する定性的情報（平成22年4月1日～平成22年9月30日）

[売上高、利益の状況]

- 当四半期の連結業績は、次のとおりとなりました。

売上高	4,122億83百万円	(前年同期比)	4.4%増
営業利益	671億91百万円	(同)	36.8%増
経常利益	621億67百万円	(同)	37.5%増
四半期純利益	399億49百万円	(同)	29.2%増

- 売上高については、アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」が1,720億63百万円（前年同期比10.3%増）、プロトンポンプ阻害剤「パリエット」（米国名「アシフェックス」）が703億40百万円（同4.1%減）となりました。また、がん関連領域製品の売上高は395億11百万円（同1.3%増）となりました。
- 売上増による売上総利益の増加に加え、販売費及び一般管理費の効率化により、営業利益、経常利益および四半期純利益は増益となりました。
- これにより、1株当たり四半期純利益は140円21銭（前年同期より31円67銭増）となりました。

[キャッシュ・インカム]

- 当社グループは、キャッシュ創出力を表す経営指標として、キャッシュ・インカムを使用しております。
- キャッシュ・インカムは、成長投資・事業開発、配当支払、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額であり、企業の成長性・戦略を検証する尺度と考えております。
- 四半期純利益は399億49百万円、有形・無形固定資産の減価償却費は220億97百万円、のれん償却額は40億43百万円、減損損失（投資有価証券評価損含む）は6億55百万円となりました。
- その結果、当四半期のキャッシュ・インカムは667億46百万円（前年同期比11.7%増）となり、1株当たりキャッシュ・インカムは234円25銭（前年同期より24円46銭増）となりました。

*キャッシュ・インカムの算式

当期純損益＋有形・無形固定資産減価償却費＋インプロセス研究開発費＋のれん償却額＋減損損失（投資有価証券評価損含む）

*1株当たりキャッシュ・インカムの算式

キャッシュ・インカム÷発行済株式数（自己株式控除後）

[セグメントの状況]

(各セグメントの売上高は外部顧客に対するものであります)

[セグメントの状況]に関する文章は、第1四半期連結会計期間より適用している「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)に基づき記載しております。また、文章中の前年同期と比較した指標は「参考値」として記載しております。
 なお、セグメント情報については、19ページに記載しております。

<日本医薬品事業>

- 売上高は1,709億7百万円(前年同期比7.0%増)、セグメント利益は723億49百万円(同9.4%増)となりました。
- 「アリセプト」の売上高は509億円(前年同期比11.3%増)、「パリエット」の売上高は298億72百万円(同14.1%増)となりました。

<米国医薬品事業>

- 売上高は1,817億3百万円(前年同期比4.5%増、現地通貨では12.2%増)、セグメント利益は572億29百万円(同14.7%増)となりました。
- 「アリセプト」の売上高は1,060億58百万円(前年同期比14.3%増、現地通貨では22.7%増)、「アシフェックス」の売上高は340億10百万円(同15.9%減、現地通貨では9.7%減)となりました。
- 中等度・高度アルツハイマー型認知症に対する高用量製剤「アリセプト錠23mg」を平成22年8月に発売いたしました。「アリセプト」の売上高のうち36億87百万円は「アリセプト錠23mg」の売上高です。

<欧州医薬品事業>

- 売上高は220億79百万円(前年同期比10.6%減)、セグメント利益は27億92百万円(同18.6%減)となりました。
- 「アリセプト」の売上高は116億5百万円(前年同期比18.7%減)、「パリエット」の売上高は36億76百万円(同10.5%減)となりました。

<アジア医薬品事業>

- 売上高は173億41百万円(前年同期比13.7%増)、セグメント利益は40億29百万円(同1.3%増)となりました。
- 「アリセプト」の売上高は34億30百万円(前年同期比7.5%増)、「パリエット」の売上高は26億27百万円(同5.0%増)となりました。

<ニューマーケット医薬品事業>

- 売上高は5億8百万円(前年同期比33.6%増)、セグメント損益は1億97百万円の損失となりました。
- 「アリセプト」(インド名「アリセップ」)の売上高は68百万円(前年同期比20.1%増)、「パリエット」(インド名「パリット」)の売上高は1億53百万円(同56.4%増)となりました。

2) 当3カ月間の経営成績 (平成22年7月1日～平成22年9月30日)

- 当3カ月間の連結売上高は、2,078億20百万円 (前年同期比3.7%増) となりました。
- 「アリセプト」の売上高は891億35百万円 (前年同期比9.7%増) で、うち日本が256億29百万円 (同14.7%増)、米国が558億87百万円 (同11.6%増、現地通貨では21.4%増) となりました。
「パリエット/アシフェックス」は350億55百万円 (前年同期比4.3%減) で、うち日本は147億78百万円 (同15.6%増)、米国が170億29百万円 (同17.5%減、現地通貨では10.2%減) となりました。
がん関連領域製品の売上高は、192億7百万円 (前年同期比0.3%減) となりました。
- 報告セグメント別の外部顧客に対する売上高は、日本医薬品事業が前年同期比8.5%増、米国医薬品事業が同2.6%増、欧州医薬品事業が同11.3%減、アジア医薬品事業が同10.2%増、ニューマーケット医薬品事業が37.4%増となりました。
- 研究開発費は378億9百万円 (前年同期比8.5%減)、販売費・一般管理費は950億19百万円 (同1.7%増) となりました。
- 営業利益は344億18百万円 (前年同期比37.8%増)、経常利益は319億99百万円 (同45.3%増)、四半期純利益は211億60百万円 (同45.2%増) となり、1株当たり四半期純利益は、74円26銭 (前年同期より23円11銭増) となりました。

3) 研究開発などの状況

[開発品の状況]

- 抗がん剤「E7389」(微小管ダイナミクス阻害剤)は、乳がんに係る適応で、日本、米国、欧州(EU)ならびにスイス、シンガポールにおいて申請中であり、平成22年5月には、日本、米国で優先審査品目に指定されました。また、平成22年6月に開催された第46回米国臨床腫瘍学会年次総会で、本剤のフェーズⅢ試験(EMBRACE試験/Eisai Metastatic Breast Cancer Study Assessing Physician's Choice Versus E7389)結果が口頭発表され、重度の前治療歴のある局所進行性・転移性乳がんの患者様において、治験医師選択療法と比較し有意に全生存期間の中央値を延長したことが紹介されました。あわせて、非小細胞肺癌(米国)、前立腺がん(欧米)、肉腫(欧州)を対象としたフェーズⅡ試験等も進めております。
- エンドトキシン拮抗剤「E5564」は、日本、米国、欧州での同時申請をめざして、重症敗血症を対象としたフェーズⅢ試験が進行中であり、本試験は、国際共同治験として取り組んでおります。
- 平成22年5月、日本で、頻脈性不整脈治療剤「タンボコール錠」の小児における頻脈性不整脈(発作性心房細動・粗動、発作性上室性、心室性)の効能・効果および用法・用量の追加承認を取得いたしました。
- 平成22年6月、日本で、プロトンポンプ阻害剤「パリエット」の非びらん性胃食道逆流症に関する効能・効果追加、およびアモキシシリン水和物およびクラリスロマイシンまたはメトロニダゾールとの3剤併用による、胃MALTLリンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、および早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃におけるヘリコバクター・ピロリの除菌療法に関する効能・効果追加の承認を取得いたしました。
- 平成22年7月、米国で、中等度・高度アルツハイマー型認知症の治療剤である1日1回投与の高用量製剤「アリセプト錠23mg」の承認を取得いたしました。
- 平成22年7月、欧州で、てんかん治療剤「ゾネグラン」の新剤形である口腔内崩壊錠の剤形追加の承認を取得いたしました。
- 平成22年4月、日本で、プロトンポンプ阻害剤「パリエット」の逆流性食道炎に関する用法・用量追加の申請をいたしました。
- 平成22年6月、米国で、プロトンポンプ阻害剤「アシフェックス エクステンドリリース 50mg 製剤」の承認申請が受理されました。また、平成22年9月には欧州でもプロトンポンプ阻害剤「パリエット エクステンドリリース 50mg 製剤」の承認申請が受理されました。
- 平成22年6月、日本で、経口抗凝固剤「ワーファリン」の新剤形である顆粒剤の剤形追加の申請をいたしました。
- 平成22年7月、米国で、てんかん治療剤「BANZEL」の新剤形である経口懸濁液(40mg/mL)の承認申請が受理されました。

- 平成22年8月、日本で、ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体「ヒュミラ」の若年性特発性関節炎に関する効能・効果追加の申請をいたしました。
- 平成22年9月、日本で、経口抗凝固剤「ワーファリン」の小児における用法・用量追加の申請をいたしました。
- 抗がん剤「MORAb-003」（モノクローナル抗体）について、欧米に続き日本でも卵巣がんを対象としたフェーズⅢ試験を開始いたしました。本試験は国際共同治験として取り組むことになりました。
- てんかん治療剤「E2080」について、日本でレノックス・ガストー症候群を対象としたフェーズⅢ試験を開始いたしました。
- 抗がん剤「E7080」（VEGF受容体チロシンキナーゼ阻害剤）について、米国でメラノーマを対象としたフェーズⅡ試験を開始いたしました。
- 抗がん剤「ONTAK」について、米国でメラノーマを対象としたフェーズⅡ試験を開始いたしました。
- 平成22年10月、日本で、肥満症治療剤「KES524」の製造販売承認申請を取り下げるとともに、本剤の開発を中止いたしました。

[主な提携などの状況]

- 平成22年6月、米国子会社 Eisai Inc.は、スイスの Helsinn Healthcare S.A.と、がん化学療法に伴う悪心・嘔吐の予防薬をめざした、ニューロキニン受容体拮抗剤 netupitant（一般名）とセロトニン-3受容体拮抗剤 palonosetron（一般名、製品名：Aloxi）を含有する新規の制吐剤配合剤（経口剤、注射剤）について、米国における商業化に係るライセンス契約を締結いたしました。
- 平成22年7月、米国子会社 Eisai Inc.は、米国 Arena Pharmaceuticals, Inc.のスイス子会社 Arena Pharmaceuticals GmbHと、肥満症治療剤 lorcaserin（一般名）について、米国における独占的商業化に係るライセンス契約を締結いたしました。本剤に関し、平成22年10月、米国食品医薬品局（FDA）より審査完了報告通知（Complete Response Letter）が発行されました。本通知でFDAは非臨床と臨床に関する指摘をしています。今後、両社は本通知に掲載されている指摘事項についてFDAとの協議のもと対処してまいります。
- 平成22年9月、信州大学発ベンチャー企業である株式会社アネロファーマ・サイエンス（東京都）と、ビフィズス菌の特性を活かした新規抗がん剤「APS001」に関するオプション契約およびビフィズス菌を用いたデリバリー技術を活用した新規抗がん剤候補の探索に係る契約を締結いたしました。
- 平成22年9月、株式会社ブレインファクトリー（東京都）と、「ラブコナゾール・ジヒドロジェンホスホノキシメトキシ誘導體」（ラブコナゾール・プロドラッグ）について、日本を対象としたライセンス契約を締結いたしました。

[主なトピックス]

- 日本での販売についてファイザー株式会社とコ・プロモーション契約を締結している「リリカ カプセル」について、日本で、平成22年4月にファイザー株式会社が帯状疱疹後神経痛の効能・効果で製造販売承認を取得し、6月に新発売いたしました。10月には、帯状疱疹後神経痛にかえて、より広い末梢性神経障害性疼痛という効能・効果を取得いたしました。
- 平成22年4月、医薬品販売会社 Eisai Ltd.をカナダに設立いたしました。
- 平成22年5月、米国ノースカロライナ工場において抗がん剤の注射剤生産棟が開設されました。この新しい生産棟は、当社グループとして初めての抗がん剤を含む注射剤の製剤化研究と製剤生産を担うグローバルな生産拠点となります。無菌生産ライン、治験薬製造ライン、製剤研究室などを有し、最先端の封じ込め隔離技術により超高活性化合物を取り扱えるように設計されております。本施設の開設・稼働により、当社グループがグローバルで構築している研究開発・生産・物流・販売にいたるシームレス・バリュー・チェーンがより強固なものとなります。
- 平成22年6月、日本で、1日1回1錠の服用で効果を発揮する乗物酔い薬「トラベルミン 1」（第2類医薬品）を新発売いたしました。
- 平成22年9月、中国で、速効型インスリン分泌促進薬「グルファスト」（中国での製品名「快如妥」）を新発売いたしました。
- 平成22年9月、シンガポールで、低悪性度非ホジキンリンパ腫および慢性リンパ性白血病を適応症として、抗がん剤「Symbenda」（一般名：ベンダムスチン塩酸塩）を新発売いたしました。
- Teikoku Pharma USA, Inc.と米国におけるライセンス契約を締結しているアルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」の1週間持続型経皮吸収パッチ製剤（週1回投与製剤）に関し、米国で、平成22年9月に Teikoku Pharma USA, Inc.より提出された承認申請が受理されました。
- シンバイオ製薬株式会社と日本におけるライセンス契約を締結している抗がん剤「トレアキシシン」（一般名：ベンダムスチン塩酸塩）について、日本で、平成22年10月にシンバイオ製薬株式会社が再発・難治性の低悪性度非ホジキンリンパ腫およびマントル細胞リンパ腫を効能・効果として承認を取得いたしました。

4) 連結財政状態に関する定性的情報

[資産等の状況]

- 当四半期末の資産合計は、1兆642億36百万円（前期末より376億73百万円減）となりました。為替変動による海外子会社資産の円換算額の減少等により、無形固定資産などが減少いたしました。
- 負債合計は6,596億2百万円（前期末より205億67百万円減）となりました。
- 純資産合計は4,046億33百万円（前期末より171億6百万円減）となり、自己資本比率は37.5%（前期末より0.3ポイント減）となりました。

[キャッシュ・フローの状況]（平成22年4月1日～平成22年9月30日）

- 当四半期の営業活動から得たキャッシュ・フローは、846億31百万円（前年同期より523億73百万円増）となりました。税金等調整前四半期純利益は606億40百万円、減価償却費は220億97百万円、売上債権の増加額は71億15百万円、法人税等の支払額は73億16百万円であります。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、268億70百万円の支出（前年同期より42億55百万円増）となりました。そのうち、有形固定資産の取得による支出は63億81百万円、3カ月超預金の純増加額は193億67百万円であります。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、434億59百万円の支出（前年同期より278億96百万円増）となりました。短期借入金の純減少額は200億円であり、配当金の支払いに227億95百万円を支出いたしました。
- 以上の結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物は、1,196億7百万円（前期末より44億78百万円増）となりました。

5) 利益配分に関する考え方および当中間（第2四半期末）配当

剰余金の配当については、連結業績、連結純資産配当率（DOE）およびキャッシュ・インカムを総合的に勘案し、株主の皆様へ継続的・安定的に実施しております。

DOEは、株主の皆様への利益配分を示す配当性向（DPR）と、株主の皆様が投資した資金を使いどれだけ効果的に利益を出せたかを示す自己資本当期純利益率（ROE）の2つの要素が含まれております。

キャッシュ・インカムは、企業のキャッシュ創出力を表わしております。その用途は、株主様への配当支払い、成長投資・事業開発および借入金返済等の財務体質の強化などであり、それぞれに対し中期的に3分の1ずつバランスよく配分することが重要であると考えております。

このような観点から、連結業績に加えDOEならびにキャッシュ・インカムの配分を総合的に勘案することは、中期的な株主還元指標としてバランスのとれた相応しいものと考えております。また、自己株式の取得に関しては、適切な時期に実施いたします。

当社は委員会設置会社であり、剰余金の配当等に関しては機動的に行うことを目的として取締役会決議とすることを定款に定めております。

当中間（第2四半期末）配当金は、株主の皆様への継続的・安定的な配当という基本方針に基づき、1株当たり70円（前年同期と同額）とさせていただきます。

6) 平成23年3月期の連結業績予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

[連結業績予想]

○通期の連結業績の見通しについては、今年7月に発表した予想を、次のとおり修正いたします。

	今回発表予想		前回発表予想		増減額	増減率
	(A)	前期比	(B)	前期比	(A-B)	
売上高	7,950億円	1.0%減	8,100億円	0.9%増	△150億円	△1.9%
営業利益	1,160億円	34.2%増	1,050億円	21.5%増	110億円	10.5%
経常利益	1,070億円	34.3%増	985億円	23.6%増	85億円	8.6%
当期純利益	700億円	73.5%増	650億円	61.1%増	50億円	7.7%

* 1株当たり予想当期純利益 (通期) 245円68銭
(第3・第4四半期の前提為替レート: 1米ドル80円、1ユーロ115円、1ポンド135円)

<売上高>

- 売上高については、日本や米国、アジアにおいて好調に推移しておりますが、為替の影響により、前回予想より150億円減額となる7,950億円を見込んでおります。
- 主力品の「アリセプト」は為替の影響により、前回から155億円の減額となる3,125億円、「パリエット/アシフェックス」は日本において好調に推移していること等により、前回から20億円の増額となる1,360億円を見込んでおります。

<利益>

- 医薬品事業各リージョンの引き続き好調な現地通貨ベースでの売上向上と販売費・一般管理費のさらなる効率化による収益性向上により、営業利益については前回予想を110億円上回る1,160億円を見込んでおります。
- 経常利益は、為替差損の発生により営業外費用が増加しておりますが、前回予想から85億円増額となる1,070億円を見込んでおります。
- 当期純利益は、前回予想から50億円増額となる700億円を見込んでおります。
- キャッシュ・インカムは、為替の影響により有形・無形固定資産の減価償却費やのれん償却額が減少いたしますが、前回予想を10億円上回る1,210億円を見込んでおります。

(参考)

[個別業績予想]

- 通期の個別業績の見通しについては、今年5月に発表した予想を、次のとおり修正いたします。

	今回発表予想		前回発表予想		増減額 (A - B)	増減率
	(A)	前期比	(B)	前期比		
売上高	4,550億円	2.3%増	4,540億円	2.1%増	10億円	0.2%
営業利益	1,020億円	9.4%増	870億円	6.7%減	150億円	17.2%
経常利益	945億円	6.6%増	820億円	7.5%減	125億円	15.2%
当期純利益	655億円	14.3%増	585億円	2.0%増	70億円	12.0%

[将来予想に関する事項と事業等のリスク]

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでおります。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれております。
- 当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりであります。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものであります。

海外展開におけるリスク、新薬開発の不確実性、特定の製品への依存に関するリスク、他社とのアライアンスにおけるリスク、医療費抑制策、後発医薬品に関する競合・訴訟、知的財産に関するリスク、副作用発現のリスク、法規制に関するリスク、訴訟に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止、使用原材料の安全性に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、環境に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、ならびに内部統制の整備等に関するリスク。

なお、上記リスク項目の詳細に関しては、当社の有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

7) コーポレートガバナンスに関連する事項

当社グループは、国内外のグループ企業における共通の「知」である企業理念の実現を通して、企業価値を向上させ、株主の皆様からの共同の利益を長期的に増大させるために、長期的な視野のもと企業活動を実行していかねばならないと考えております。そのためには株主の皆様からの信頼を得ることが重要であり、当社グループは、最良のコーポレートガバナンスの実現に向けて、その充実に取り組んでおります。

当社は、委員会設置会社であり、経営の監督機能と業務執行機能を明確に分離することを基軸とし、取締役会は、法令の範囲内で、社の業務決定を大幅に執行役に委任することで、経営の監督に専念するシステムとしております。また、株主の皆様をはじめとするステークホルダーズの皆様の立場から客観的かつ公正な経営の監督を行うために、取締役の過半数を社外取締役としております。さらに、取締役会の議長と代表執行役社長を分離するとともに取締役会の議長を社外取締役とし、執行役を兼任する取締役は代表執行役社長1名としております。社外取締役は、法令に定める要件に加え、当社の指名委員会が定めた「社外取締役の独立性の要件」を満たしております。指名委員会と報酬委員会は、すべて社外取締役で構成し、監査委員会は過半数を占める社外取締役と社内事情に精通した社内取締役で構成するとともに委員長を社外取締役としております。

また、当社は、社外取締役全員で構成する経営陣から独立した社外取締役独立委員会を設置しております。当委員会は、「当社企業価値・株主共同の利益の確保に関する対応方針」の維持、見直し、廃止および本対応方針を運用する役割を担っております。

平成22年6月18日開催の第98回定時株主総会終了後に開催された社外取締役独立委員会では、互選により取締役会の議長を兼務しない委員長が選定され、本対応方針について、現行の内容で継続することを当社取締役会に提案する旨決議し、平成22年7月30日開催の取締役会において本対応方針の継続が審議され、承認されました。

当社は、今後とも、コーポレートガバナンスの充実につとめるとともに、経営に関する重要な情報を積極的かつ適時・適切に開示することによって、公正かつ透明性の高い経営を遂行してまいります。

なお、当社のコーポレートガバナンスガイドライン、取締役会規則、指名委員会規則、監査委員会規則、報酬委員会規則、およびコーポレートガバナンスシステムに関する状況を当社のホームページ (<http://www.eisai.co.jp/company/cgregulations.html>) に掲載しております。また、「コーポレートガバナンス報告書」を東京証券取引所ならびに大阪証券取引所へ報告し、両取引所ならびに当社のホームページに掲載しております。

2. その他の情報

1) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(1) 簡便な会計処理

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出においては、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算定しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(1) 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益は40百万円、税金等調整前四半期純利益は694百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	91,241	69,637
受取手形及び売掛金	206,651	207,219
有価証券	89,956	83,823
商品及び製品	37,292	36,564
仕掛品	16,213	19,676
原材料及び貯蔵品	12,231	11,313
繰延税金資産	39,416	32,457
その他	17,794	19,591
貸倒引当金	△287	△239
流動資産合計	510,509	480,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	82,390	86,525
その他(純額)	66,578	70,117
有形固定資産合計	148,968	156,642
無形固定資産		
のれん	133,421	152,768
販売権	90,913	109,704
技術資産	44,565	50,967
その他	11,493	12,449
無形固定資産合計	280,394	325,890
投資その他の資産		
投資有価証券	58,137	64,797
繰延税金資産	59,986	63,568
その他	6,479	11,255
貸倒引当金	△239	△287
投資その他の資産合計	124,364	139,333
固定資産合計	553,726	621,865
資産合計	1,064,236	1,101,910

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,313	20,314
短期借入金	4,000	24,000
1年内償還予定の社債	39,999	—
未払金	62,804	67,913
未払費用	53,870	59,657
未払法人税等	22,254	6,555
売上割戻引当金	33,904	32,723
その他の引当金	505	556
その他	8,811	8,523
流動負債合計	247,464	220,244
固定負債		
社債	79,990	119,987
長期借入金	260,292	265,824
繰延税金負債	20,757	23,786
退職給付引当金	27,231	26,368
役員退職慰労引当金	1,066	2,723
その他	22,800	21,235
固定負債合計	412,138	459,925
負債合計	659,602	680,170
純資産の部		
株主資本		
資本金	44,985	44,985
資本剰余金	56,928	56,928
利益剰余金	440,911	423,756
自己株式	△39,575	△39,574
株主資本合計	503,250	486,096
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,958	4,884
繰延ヘッジ損益	△1,258	△609
為替換算調整勘定	△105,272	△74,436
評価・換算差額等合計	△104,572	△70,160
新株予約権	808	741
少数株主持分	5,147	5,063
純資産合計	404,633	421,740
負債純資産合計	1,064,236	1,101,910

2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	394,982	412,283
売上原価	78,863	84,134
売上総利益	316,118	328,149
返品調整引当金繰入額	52	—
返品調整引当金戻入額	—	19
差引売上総利益	316,065	328,169
販売費及び一般管理費	※1 266,945	※1 260,977
営業利益	49,119	67,191
営業外収益		
受取利息	659	503
受取配当金	475	525
その他	171	152
営業外収益合計	1,307	1,181
営業外費用		
支払利息	3,895	3,751
為替差損	858	2,313
その他	474	139
営業外費用合計	5,229	6,205
経常利益	45,197	62,167
特別利益		
固定資産売却益	8	28
その他	11	20
特別利益合計	19	49
特別損失		
固定資産処分損	110	256
減損損失	—	305
投資有価証券評価損	—	350
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	654
その他	5	8
特別損失合計	116	1,576
税金等調整前四半期純利益	45,100	60,640
法人税、住民税及び事業税	18,452	23,092
法人税等調整額	△4,587	△2,604
法人税等合計	13,865	20,487
少数株主損益調整前四半期純利益	—	40,152
少数株主利益	312	202
四半期純利益	30,922	39,949

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	200,310	207,820
売上原価	40,573	40,556
売上総利益	159,736	167,263
返品調整引当金繰入額	—	15
返品調整引当金戻入額	0	—
差引売上総利益	159,737	167,247
販売費及び一般管理費	※1 134,761	※1 132,829
営業利益	24,975	34,418
営業外収益		
受取利息	338	287
受取配当金	5	5
その他	106	72
営業外収益合計	451	365
営業外費用		
支払利息	1,835	1,866
為替差損	1,400	860
その他	170	55
営業外費用合計	3,406	2,783
経常利益	22,019	31,999
特別利益		
固定資産売却益	5	1
その他	9	0
特別利益合計	14	2
特別損失		
固定資産処分損	74	207
減損損失	—	305
その他	4	34
特別損失合計	79	547
税金等調整前四半期純利益	21,955	31,454
法人税、住民税及び事業税	5,161	10,601
法人税等調整額	2,087	△401
法人税等合計	7,248	10,200
少数株主損益調整前四半期純利益	—	21,254
少数株主利益	133	93
四半期純利益	14,573	21,160

3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	45,100	60,640
減価償却費	24,490	22,097
のれん償却額	4,357	4,043
その他の損益 (△は益)	2,923	3,633
売上債権の増減額 (△は増加)	△12,700	△7,115
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,584	△1,555
仕入債務の増減額 (△は減少)	16	2,842
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	5,705	3,619
売上割戻引当金の増減額 (△は減少)	1,286	4,694
その他	△951	1,786
小計	68,643	94,685
利息及び配当金の受取額	1,067	965
利息の支払額	△3,911	△3,703
法人税等の支払額	△33,541	△7,316
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,258	84,631
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,242	△6,381
無形固定資産の取得による支出	△5,250	△1,921
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△4,224	△1,344
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	5,382	1,518
3カ月超預金の純増減額 (△は増加)	—	△19,367
その他	△7,280	625
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,615	△26,870
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,000	△20,000
配当金の支払額	△19,943	△22,795
その他	△619	△664
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,562	△43,459
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,231	△9,822
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△13,151	4,478
現金及び現金同等物の期首残高	131,527	115,128
現金及び現金同等物の四半期末残高	118,375	119,607

4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

5) セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、トップマネジメントが定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、医薬品事業を日本、米国、欧州、アジア(中国含む)、ニューマーケット(インド、中東等)の5リージョンで構成し、各リージョンの特性に応じた戦略を企画・推進しております。医薬品事業では、主に医療用医薬品の製造・販売を行っております。

当社グループのセグメントは、医薬品事業とその他事業から構成されており、医薬品事業の各リージョンを報告セグメントとしております。

(2) 報告セグメントごとの売上高および利益(又は損失)に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	医薬品事業							
	日本	米国	欧州	アジア	ニュー マーケット	計		
外部顧客に対する売上高	170,907	181,703	22,079	17,341	508	392,541	19,742	412,283
セグメント利益(△損失)	72,349	57,229	2,792	4,029	△197	136,203	9,081	145,285

当第2四半期連結会計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	医薬品事業							
	日本	米国	欧州	アジア	ニュー マーケット	計		
外部顧客に対する売上高	84,735	93,149	10,960	8,582	244	197,673	10,146	207,820
セグメント利益(△損失)	35,539	30,717	1,513	1,939	△135	69,575	5,005	74,580

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品原料・製薬用機械などに係る事業を含んでおります。

(3) 報告セグメントの利益(又は損失)の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差異および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメントの利益計	136,203
「その他」の区分の利益	9,081
研 究 開 発 費	△73,837
親会社の本社管理費等	△4,256
四半期連結損益計算書の営業利益	67,191

当第2四半期連結会計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメントの利益計	69,575
「その他」の区分の利益	5,005
研 究 開 発 費	△37,809
親会社の本社管理費等	△2,352
四半期連結損益計算書の営業利益	34,418

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。
また、親会社の本社管理費等は、当社グループ全体の運営に係る費用であるため、セグメントに配分しておりません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

7) 注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)												
<p>※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">販売諸費</td> <td style="text-align: right;">100,463 百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">研究開発費</td> <td style="text-align: right;">80,688 百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">給料及び賞与</td> <td style="text-align: right;">31,813 百万円</td> </tr> </table>	販売諸費	100,463 百万円	研究開発費	80,688 百万円	給料及び賞与	31,813 百万円	<p>※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">販売諸費</td> <td style="text-align: right;">102,086 百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">研究開発費</td> <td style="text-align: right;">73,837 百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">給料及び賞与</td> <td style="text-align: right;">31,672 百万円</td> </tr> </table>	販売諸費	102,086 百万円	研究開発費	73,837 百万円	給料及び賞与	31,672 百万円
販売諸費	100,463 百万円												
研究開発費	80,688 百万円												
給料及び賞与	31,813 百万円												
販売諸費	102,086 百万円												
研究開発費	73,837 百万円												
給料及び賞与	31,672 百万円												

前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)												
<p>※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">販売諸費</td> <td style="text-align: right;">52,124 百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">研究開発費</td> <td style="text-align: right;">41,305 百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">給料及び賞与</td> <td style="text-align: right;">15,581 百万円</td> </tr> </table>	販売諸費	52,124 百万円	研究開発費	41,305 百万円	給料及び賞与	15,581 百万円	<p>※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">販売諸費</td> <td style="text-align: right;">52,806 百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">研究開発費</td> <td style="text-align: right;">37,809 百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">給料及び賞与</td> <td style="text-align: right;">15,683 百万円</td> </tr> </table>	販売諸費	52,806 百万円	研究開発費	37,809 百万円	給料及び賞与	15,683 百万円
販売諸費	52,124 百万円												
研究開発費	41,305 百万円												
給料及び賞与	15,581 百万円												
販売諸費	52,806 百万円												
研究開発費	37,809 百万円												
給料及び賞与	15,683 百万円												

証券コード： 4523

2010.9

参 考 資 料

平成 23 年 3 月期第 2 四半期決算

2010 年 10 月 28 日

お問い合わせ

エーザイ株式会社

PR 部・IR 部

TEL 03-3817-5120 FAX 03-3811-3077

<http://www.eisai.co.jp/ir/>

[将来予想に関する事項と事業等のリスク]

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでおります。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれております。

当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりであります。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものであります。

海外展開におけるリスク、新薬開発の不確実性、特定の製品への依存に関するリスク、他社とのアライアンスにおけるリスク、医療費抑制策、後発医薬品に関する競合・訴訟、知的財産に関するリスク、副作用発現のリスク、法規制に関するリスク、訴訟に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止、使用原材料の安全性に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、環境に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、ならびに内部統制の整備等に関するリスク。

目次

1. 連結財務ハイライト	1
2. 連結損益計算書	3
3. 連結キャッシュ・フロー計算書	4
4. セグメント情報	5
5. 連結貸借対照表	10
6. 連結四半期業績の推移	12
7. 個別情報	16
8. 株式の状況	18
9. 子会社・関連会社	20
10. 従業員数	22
11. 主なイベント	23
12. 主要開発品	25

- * 前回発表した通期の業績予想を修正しております。修正箇所には下線を付しております。
- * 当資料中の数字は、切捨表示のある場合を除き、四捨五入で表示しております。
- * 当資料の作成に用いた為替レートは、下表のとおりであります。
- * 海外の損益情報については、期中平均レートを用いて円換算しております。

為替レート

	米国 (円/米ドル)	欧州 (円/ユーロ)	英国 (円/ポンド)	中国 (円/元)
2010年3月期 期中平均レート	95.48	133.15	152.24	13.97
第2四半期累計 期末日レート	90.21	131.72	144.10	13.21
2010年3月期 期中平均レート	92.84	131.15	148.25	13.57
期末日レート	93.04	124.92	140.40	13.63
2011年3月期 期中平均レート	88.95	113.84	134.99	13.08
第2四半期累計 期末日レート	83.82	114.24	132.67	12.52
2011年3月期 第3・第4四半期予想レート	<u>80.00</u>	<u>115.00</u>	<u>135.00</u>	13.00

【本資料の記載項目について】

当社グループでは、企業評価において最も本質的な能力はキャッシュ創出力と考えております。この基本的考え方にに基づき、真の収益力を反映することを目的として、企業買収などで発生するのれん償却額や一括費用計上するインプロセス研究開発費、また、有形・無形固定資産の減価償却費、減損損失（投資有価証券評価損含む）という非キャッシュ損益項目を調整した「キャッシュ・インカム」「1株当たりキャッシュ・インカム（キャッシュEPS）」を表示しております。

* キャッシュ・インカム

成長投資・事業開発、配当支払、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額であり、企業の成長性・戦略を検証する尺度と考えております。

算式：当期純損益＋有形・無形固定資産減価償却費＋インプロセス研究開発費＋のれん償却額
＋減損損失（投資有価証券評価損含む）

* 1株当たりキャッシュ・インカム（キャッシュEPS）

算式：キャッシュ・インカム÷発行済株式数（自己株式控除後）

【セグメント情報について】

セグメント情報については、2011年3月期より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。これに伴い、本資料のセグメント情報に関する前年同期と比較した指標および2010年3月期の金額を「参考値」として表示しております。

1. 連結財務ハイライト

1) 損益計算書項目

	第2四半期累計			通期	
	2010年	2011年	前年同期比 %	2010年	2011年
	3月期	3月期		3月期	3月期(予)
売上高	3,950	4,123	104.4	8,032	7,950
売上原価	789	841	106.6	1,607	1,670
研究開発費	807	738	91.5	1,791	1,500
販売費・一般管理費	1,863	1,871	100.5	3,769	3,620
営業利益	491	672	136.8	864	1,160
経常利益	452	622	137.5	797	1,070
四半期(当期)純利益	309	399	129.2	403	700
キャッシュ・インカム	598	667	111.7	1,264	1,210
			前年同期差		
1株当たり配当金(DPS/円)	70.0	70.0	—	150.0	150.0
1株当たり四半期(当期)純利益(EPS/円)	108.5	140.2	31.7	141.6	245.7
1株当たりキャッシュ・インカム(キャッシュEPS/円)	209.8	234.3	24.5	443.7	424.7

*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

2) キャッシュ・フロー計算書項目

	第2四半期累計			通期
	2010年	2011年	増減額	2010年
	3月期	3月期		3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	323	846	524	1,079
投資活動によるキャッシュ・フロー	△226	△269	△43	△698
財務活動によるキャッシュ・フロー	△156	△435	△279	△492
現金及び現金同等物の期末残高	1,184	1,196	12	1,151
フリー・キャッシュ・フロー	158	765	606	529

*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(買収などを含む))

3) 貸借対照表項目

	2010年		
	3月末	9月末	増減額
総資産	11,019	10,642	△377
負債	6,802	6,596	△206
社債	1,200	1,200	0
借入金	2,898	2,643	△255
純資産	4,217	4,046	△171
自己資本	4,159	3,987	△173
自己資本比率(%)	37.7	37.5	△0.3
負債比率(ネットDER/倍)	0.6	0.5	△0.1

*負債比率(ネットDER)＝(有利子負債(借入金＋社債)－現預金－有価証券)／自己資本

4) 資本的支出及び減価償却費の状況

	第2四半期累計			(億円)
	2010年 3月期	2011年 3月期	増減額	通期 2010年 3月期
資本的支出額	130	72	△58	287
有形固定資産	107	52	△55	229
無形固定資産	23	20	△4	58
減価償却費	245	221	△24	489

*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

5) セグメント情報

(1) 報告セグメント別売上高

	第2四半期累計			(億円)
	2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %	
日本 医薬品事業	1,597	1,709	107.0	
米国 医薬品事業	1,738	1,817	104.5	
欧州 医薬品事業	247	221	89.4	
アジア 医薬品事業	152	173	113.7	
ニューマーケット 医薬品事業	4	5	133.6	
その他	212	197	93.2	
連結売上高	3,950	4,123	104.4	

*外部顧客に対する売上高であります。

(2) 報告セグメント別利益（又は損失）

	第2四半期累計			(億円)
	2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %	
日本 医薬品事業	661	723	109.4	
米国 医薬品事業	499	572	114.7	
欧州 医薬品事業	34	28	81.4	
アジア 医薬品事業	40	40	101.3	
ニューマーケット 医薬品事業	△1	△2	—	
「その他」の区分の利益	97	91	93.6	
研究開発費	807	738	91.5	
親会社の本社管理費等	32	43	131.2	
連結営業利益	491	672	136.8	

*当社グループは、医薬品事業を日本、米国、欧州、アジア（中国含む）、ニューマーケット（インド、中東等）で構成し、各リージョンの特性に応じた戦略を企画・推進しており、医薬品事業では、主に医療用医薬品の製造・販売を行っております。当社グループのセグメントは、医薬品事業とその他事業から構成されており、医薬品事業の各リージョンを報告セグメントとしております。

なお、当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。また、親会社の本社管理費等は、当社グループ全体の運営に係る費用であるため、セグメントに配分しておりません。

2. 連結損益計算書

	第2四半期累計						通期	
	2010年 3月期	売上比 %	2011年 3月期	売上比 %	前年同期比 %	増減額	2010年 3月期	売上比 %
売上高	3,950	100.0	4,123	100.0	104.4	173	8,032	100.0
売上原価	789	20.0	841	20.4	106.6	52	1,607	20.0
売上総利益	3,161	80.0	3,282	79.6	103.8	121	6,424	80.0
研究開発費	807	20.4	738	17.9	91.5	△69	1,791	22.3
販売費・一般管理費	1,863	47.2	1,871	45.4	100.5	9	3,769	46.9
人件費	417	10.6	408	9.9	97.8	△9	834	10.4
販売費	1,150	29.1	1,184	28.7	102.9	34	2,340	29.1
管理費他	295	7.5	279	6.8	94.7	△16	595	7.4
営業利益	491	12.4	672	16.3	136.8	181	864	10.8
営業外収益	13	0.3	12	0.3		△1	24	0.3
営業外費用	52	1.3	62	1.5		10	91	1.1
経常利益	452	11.4	622	15.1	137.5	170	797	9.9
特別利益	0	0.0	0	0.0		0	1	0.0
特別損失	1	0.0	16	0.4		15	55	0.7
税金等調整前四半期（当期）純利益	451	11.4	606	14.7	134.5	155	743	9.2
法人税、住民税及び事業税	185	4.7	231	5.6		46	268	3.3
法人税等調整額	△46	△1.2	△26	△0.6		20	66	0.8
少数株主利益	3	0.1	2	0.0		△1	5	0.1
四半期（当期）純利益	309	7.8	399	9.7	129.2	90	403	5.0

*売上原価には返品調整引当金繰入（戻入）額を含めて表示しております。

<キャッシュ・インカム>

四半期（当期）純利益	309	7.8	399	9.7	129.2	90	403	5.0
有形・無形固定資産減価償却費	147		131				298	
買収に伴う無形固定資産減価償却費	98		90				191	
インプロセス研究開発費	—		—				239	
のれん償却額	44		40				85	
減損損失（投資有価証券評価損含む）	—		7				49	
キャッシュ・インカム	598	15.1	667	16.2	111.7	70	1,264	15.7

<コメント>

売上高	・ アリセプト（160億円増）、ヒュミラ（35億円増）の増加 ・ バリエット／アシフェックス（30億円減）の減少
売上原価率の上昇	・ 日本の薬価改定、為替の影響等
研究開発費の減少	・ 前年度大型臨床試験の終了、為替の影響等
販売費・一般管理費率の低下	・ 管理費用の効率化等
営業外損益	・ 為替差損の増加（15億円増）
特別損益	・ 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響（7億円） ・ 投資有価証券評価損および減損損失の発生（7億円）

3. 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	第2四半期累計		増減額
	2010年 3月期	2011年 3月期	
税金等調整前四半期純利益	451	606	155
減価償却費	245	221	△24
売上債権・仕入債務及びたな卸資産の増減額	△143	△58	84
未払金・未払費用等の増減額	57	36	△21
その他	76	142	65
(小計)	686	947	260
利息等の受取及び支払額	△28	△27	1
法人税等の支払額	△335	△73	262
営業活動によるキャッシュ・フロー	323	846	524
資本的支出等(買収などを含む)	△164	△82	83
有価証券・投資有価証券の取得・売却等	12	2	△10
3カ月超預金の純増減額	△73	△194	△121
その他	△0	5	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△226	△269	△43
短期借入金の純増減額	50	△200	△250
配当金の支払額	△199	△228	△29
その他	△6	△7	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△156	△435	△279
現金及び現金同等物に係る換算差額	△72	△98	△26
現金及び現金同等物の増減額	△132	45	176
現金及び現金同等物の期首残高	1,315	1,151	△164
現金及び現金同等物の期末残高	1,184	1,196	12
フリー・キャッシュ・フロー	158	765	606

*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(買収などを含む))

<コメント>

■営業活動によるキャッシュ・フロー

- ・前年度の課税所得減少による法人税等の当期支払額の減少

■投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・有形・無形固定資産の取得による支出の減少
- ・長期借入金および社債返済のための積立金の増加

■財務活動によるキャッシュ・フロー

- ・短期借入金の返済、配当金の支払額の増加

4. セグメント情報

1) 日本 医薬品事業 (エーザイ ジャパン)

(億円)

	第2四半期累計			通期	
	2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %	2010年 3月期	2011年 3月期(予)
売上高	1,597	1,709	107.0		
セグメント利益	661	723	109.4		
日本 売上高明細					
医療用医薬品	1,437	1,525	106.1		
一般用医薬品等	96	97	101.3		
ジェネリック医薬品 (エルメッド エーザイ)	35	57	162.2		
診断薬 (三光純薬)	28	30	104.9		
日本 医療用医薬品 主力品売上高 (自社)					
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	457	509	111.3	936	1,090
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	262	299	114.1	538	600
末梢性神経障害治療剤 メチコバル	161	156	96.9	313	300
胃炎・胃潰瘍治療剤 セルベックス	75	60	79.8	142	120
骨粗鬆症治療剤 アクトネル	53	58	108.4	108	120
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	28	57	200.7	66	140
経口抗凝固剤 ワーファリン	43	48	111.3	87	95
筋緊張改善剤 ミオナール	40	34	86.8	75	70
非イオン性造影剤 イオメロン	36	34	94.4	70	65
日本 一般用医薬品等 主力品グループ売上高 (自社)					
ビタミンB ₂ 主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	54	54	99.4	105	110
メコバラミン主剤「ナボリンS」等 ナボリングループ	12	14	113.3	23	25

2) 米国 医薬品事業

		第2四半期累計		
		2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %
売上高	億円	1,738	1,817	104.5 <112.2>
セグメント利益	億円	499	572	114.7

米国 主力品売上高（自社）

アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	億円 (百万米ドル)	928 (971)	1,061 (1,192)	114.3 <122.7>
プロトンポンプ阻害剤 アシフェックス	億円 (百万米ドル)	404 (423)	340 (382)	84.1 <90.3>
制吐剤 Aloxi	億円 (百万米ドル)	190 (199)	173 (195)	91.3 <98.0>
DNAメチル化阻害剤 Dacogen	億円 (百万米ドル)	79 (83)	84 (94)	106.3 <114.1>
血液凝固阻止剤 Fragmin	億円 (百万米ドル)	62 (65)	86 (96)	137.2 <147.3>

*アリセプトの2011年3月期第2四半期累計売上高のうち、アリセプト錠23mgの売上高は37億円(41百万米ドル)であります。

3) 欧州 医薬品事業

		第2四半期累計		
		2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %
売上高	億円	247	221	89.4 <103.5>
セグメント利益	億円	34	28	81.4

欧州 主力品売上高（自社）

アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	億円	143	116	81.3 <94.1>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	億円	41	37	89.5 <103.1>
てんかん治療剤 Zonegran	億円	21	21	98.7 <113.9>

*前年同期比の< >内は為替の影響を除いた数値であります。

4) アジア 医薬品事業

		第2四半期累計		
		2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %
売上高	億円	152	173	113.7 <117.9>
セグメント利益	億円	40	40	101.3
アジア 主力品売上高（自社）				
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	億円	40	45	112.2 <118.8>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	億円	32	34	107.5 <109.3>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	億円	25	26	105.0 <107.7>
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	億円	10	17	170.2 <173.6>
肝臓疾患用剤・アレルギー用剤 強力ネオミノファーゲンシー／グリチロン錠	億円	13	16	119.6 <127.7>

<参考>中国 医薬品事業

		第2四半期累計		
		2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %
売上高	億円	73	85	116.2 <124.1>
中国 主力品売上高（自社）				
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	億円 (百万円)	34 (245)	39 (299)	114.5 <122.3>
肝臓疾患用剤・アレルギー用剤 強力ネオミノファーゲンシー／グリチロン錠	億円 (百万円)	13 (94)	16 (121)	120.2 <128.4>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	億円 (百万円)	5 (38)	8 (63)	157.1 <167.8>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	億円 (百万円)	6 (41)	6 (50)	113.9 <121.6>

5) ニューマーケット 医薬品事業

		第2四半期累計		
		2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %
売上高	億円	4	5	133.6 <136.9>
セグメント利益（△損失）	億円	△1	△2	—
ニューマーケット 主力品売上高（自社）				
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	億円	1	1	120.1 <121.9>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	億円	1	2	156.4 <158.7>

*前年同期比の<>内は為替の影響を除いた数値であります。

6) 主力品売上高 (自社)

(1) アリセプト (アルツハイマー型認知症治療剤)

		第2四半期累計			通期
		2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %	2010年 3月期
日本	億円	457	509	111.3	936
米国	億円 (百万米ドル)	928 (971)	1,061 (1,192)	114.3 <122.7>	1,947 (2,097)
欧州	億円	143	116	81.3 <94.1>	279
英国	億円 (百万ポンド)	28 (18)	32 (24)	113.9 <128.5>	53 (36)
フランス	億円 (百万ユーロ)	71 (54)	56 (49)	78.7 <92.1>	143 (109)
ドイツ	億円 (百万ユーロ)	43 (33)	28 (25)	64.5 <75.4>	83 (63)
アジア	億円	32	34	107.5 <109.3>	66
中国	億円 (百万元)	6 (41)	6 (50)	113.9 <121.6>	14 (106)
ニューマーケット	億円	1	1	120.1 <121.9>	1
総計	億円	1,560	1,721	110.3	3,228

*米国のアリセプトの2011年3月期第2四半期累計売上高のうち、アリセプト錠23mgの売上高は37億円(41百万米ドル)であります。

*2011年3月期の売上高予想の総計は3,125億円を見込んでおります。

(2) パリエット/アシフェックス (プロトンポンプ阻害剤)

		第2四半期累計			通期
		2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %	2010年 3月期
日本	億円	262	299	114.1	538
米国	億円 (百万米ドル)	404 (423)	340 (382)	84.1 <90.3>	810 (872)
欧州	億円	41	37	89.5 <103.1>	82
英国	億円 (百万ポンド)	11 (7)	10 (7)	85.0 <95.9>	22 (15)
ドイツ	億円 (百万ユーロ)	8 (6)	10 (9)	124.6 <145.7>	16 (12)
イタリア	億円 (百万ユーロ)	18 (14)	13 (12)	73.2 <85.6>	36 (28)
アジア	億円	25	26	105.0 <107.7>	48
中国	億円 (百万元)	5 (38)	8 (63)	157.1 <167.8>	11 (80)
ニューマーケット	億円	1	2	156.4 <158.7>	2
総計	億円	733	703	95.9	1,480

*2011年3月期の売上高予想の総計は1,360億円を見込んでおります。

*前年同期比の< >内は為替の影響を除いた数値であります。

(3) がん関連領域製品

		第2四半期累計			通期
		2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %	2010年 3月期
Aloxi (制吐剤)					
米国	億円 (百万米ドル)	190 (199)	173 (195)	91.3 <98.0>	383 (413)
Dacogen (DNAメチル化阻害剤)					
米国	億円 (百万米ドル)	79 (83)	84 (94)	106.3 <114.1>	154 (166)
Fragmin (血液凝固阻害剤)					
米国	億円 (百万米ドル)	62 (65)	86 (96)	137.2 <147.3>	145 (156)
その他	億円	59	52	88.8	116
総計	億円	390	395	101.3	799

(4) ヒュミラ (ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体)

		第2四半期累計			通期
		2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %	2010年 3月期
日本	億円	28	57	200.7	66
アジア	億円	10	17	170.2 <173.6>	23
総計	億円	38	73	192.9	89

*前年同期比の< >内は為替の影響を除いた数値であります。

7) 海外売上高

	第2四半期累計			通期
	2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %	2010年 3月期
海外売上高	2,274	2,332	102.5	4,655
海外売上高比率 (%)	57.6	56.6	-	58.0
<参考>				
所在地別売上高 海外計	2,157	2,225	103.2	4,434
所在地別売上高 海外比率 (%)	54.6	54.0	-	55.2

*外部顧客に対する売上高であります。

*所在地別売上高海外計は、海外子会社の売上高の総計であります。

5. 連結貸借対照表

1) 貸借対照表<資産の部>

(億円)

	2010年 3月末	構成比 %	2010年 9月末	構成比 %	前期末比 %	増減額
流動資産	4,800	43.6	5,105	48.0	106.3	305
現金及び預金	696		912			216
受取手形及び売掛金	2,072		2,067			△6
有価証券	838		900			61
たな卸資産	676		657			△18
繰延税金資産	325		394			70
その他	196		178			△18
貸倒引当金	△2		△3			△0
固定資産	6,219	56.4	5,537	52.0	89.0	△681
有形固定資産	1,566	14.2	1,490	14.0	95.1	△77
建物及び構築物	865		824			△41
その他	701		666			△35
無形固定資産	3,259	29.6	2,804	26.3	86.0	△455
のれん	1,528		1,334			△193
販売権	1,097		909			△188
技術資産	510		446			△64
その他	124		115			△10
投資その他の資産	1,393	12.6	1,244	11.7	89.3	△150
投資有価証券	648		581			△67
繰延税金資産	636		600			△36
その他	113		65			△48
貸倒引当金	△3		△2			0
資産合計	11,019	100.0	10,642	100.0	96.6	△377

<コメント>

■資産合計

・ 為替の変動に伴う海外子会社資産の円換算による減少

2) 貸借対照表<負債及び純資産の部>

(億円)

	2010年 3月末	構成比 %	2010年 9月末	構成比 %	前期末比 %	増減額
流動負債	2,202	20.0	2,475	23.3	112.4	272
支払手形及び買掛金	203		213			10
短期借入金	240		40			△200
1年内償還予定の社債	—		400			400
未払金・未払費用	1,276		1,167			△109
未払法人税等	66		223			157
売上割戻引当金	327		339			12
その他	91		93			2
固定負債	4,599	41.7	4,121	38.7	89.6	△478
社債	1,200		800			△400
長期借入金	2,658		2,603			△55
繰延税金負債	238		208			△30
退職給付引当金	264		272			9
役員退職慰労引当金	27		11			△17
その他	212		228			16
負債合計	6,802	61.7	6,596	62.0	97.0	△206
株主資本	4,861	44.1	5,033	47.3	103.5	172
資本金	450		450			—
資本剰余金	569		569			△0
利益剰余金	4,238		4,409			172
自己株式	△396		△396			△0
評価・換算差額等	△702	△6.4	△1,046	△9.8	149.0	△344
その他有価証券評価差額金	49		20			△29
繰延ヘッジ損益	△6		△13			△6
為替換算調整勘定	△744		△1,053			△308
新株予約権	7	0.1	8	0.1	109.1	1
少数株主持分	51	0.5	51	0.5	101.7	1
純資産合計	4,217	38.3	4,046	38.0	95.9	△171
負債純資産合計	11,019	100.0	10,642	100.0	96.6	△377

<コメント>

■負債合計

- ・短期借入金の返済による減少

■純資産合計

- ・海外子会社のB/S換算レートの円高影響による減少

6. 連結四半期業績の推移

1) 損益計算書項目

(億円)

	2010年3月期				2011年3月期	
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
売上高	1,947	2,003	2,095	1,987	2,045	2,078
売上原価	383	406	426	392	435	406
研究開発費	394	413	361	623	360	378
販売費・一般管理費	928	935	948	959	921	950
営業利益	241	250	359	13	328	344
経常利益(△損失)	232	220	349	△4	302	320
四半期純利益(△損失)	163	146	230	△136	188	212
キャッシュ・インカム	307	291	373	293	326	342
1株当たり四半期純利益(△損失)(EPS/円)	57.4	51.2	80.7	△47.7	65.9	74.3
1株当たりキャッシュ・インカム(キャッシュEPS/円)	107.7	102.1	131.1	102.8	114.4	119.9

*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

2) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	2010年3月期				2011年3月期	
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5	328	271	486	282	565
投資活動によるキャッシュ・フロー	△129	△98	△52	△420	△51	△218
財務活動によるキャッシュ・フロー	△123	△33	8	△345	△311	△123
現金及び現金同等物の期末残高	1,052	1,184	1,427	1,151	1,014	1,196
フリー・キャッシュ・フロー	△107	265	199	172	239	526

*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(買収などを含む))

3) 貸借対照表項目

(億円)

	2010年3月期				2011年3月期	
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
総資産	11,274	11,099	11,403	11,019	10,655	10,642
負債	6,970	6,864	7,083	6,802	6,674	6,596
社債	1,209	1,209	1,200	1,200	1,200	1,200
借入金	3,072	3,001	3,235	2,898	2,791	2,643
純資産	4,304	4,235	4,320	4,217	3,981	4,046
自己資本	4,251	4,181	4,264	4,159	3,923	3,987
自己資本比率 (%)	37.7	37.7	37.4	37.7	36.8	37.5
負債比率 (ネットDER/倍)	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.5

*負債比率 (ネットDER) = (有利子負債 (借入金 + 社債) - 現金預金 - 有価証券) / 自己資本

4) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2010年3月期				2011年3月期	
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
資本的支出額	58	72	60	97	35	37
有形固定資産	48	59	42	80	25	28
無形固定資産	10	13	18	17	10	9
減価償却費	121	124	123	121	114	107

*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

5) 主力品売上高 (自社)

(1) アリセプト

		2010年3月期				2011年3月期	
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
日本	億円	234	223	269	210	253	256
米国	億円 (百万米ドル)	427 (438)	501 (533)	455 (507)	564 (619)	502 (545)	559 (647)
欧州	億円	72	71	75	61	58	58
英国	億円 (百万ポンド)	15 (10)	13 (9)	12 (8)	13 (9)	17 (13)	15 (11)
フランス	億円 (百万ユーロ)	35 (27)	36 (27)	38 (29)	33 (27)	28 (24)	28 (25)
ドイツ	億円 (百万ユーロ)	21 (16)	22 (16)	25 (19)	15 (12)	12 (10)	16 (14)
アジア	億円	16	16	16	18	17	18
中国	億円 (百万元)	2 (14)	4 (27)	3 (26)	5 (38)	3 (22)	3 (27)
ニューマーケット	億円	0	0	0	0	0	0
総計	億円	748	812	815	853	829	891

(2) パリエット/アシフェックス

		2010年3月期				2011年3月期	
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
日本	億円	134	128	169	107	151	148
米国	億円 (百万米ドル)	198 (203)	206 (220)	208 (231)	197 (217)	170 (185)	170 (198)
欧州	億円	21	20	21	20	18	19
英国	億円 (百万ポンド)	6 (4)	6 (4)	6 (4)	5 (3)	5 (4)	4 (3)
ドイツ	億円 (百万ユーロ)	4 (3)	4 (3)	4 (3)	4 (3)	4 (4)	6 (5)
イタリア	億円 (百万ユーロ)	9 (7)	9 (7)	9 (7)	9 (7)	6 (5)	7 (6)
アジア	億円	14	11	12	11	13	13
中国	億円 (百万元)	4 (26)	2 (12)	3 (20)	3 (22)	4 (26)	5 (37)
ニューマーケット	億円	0	0	0	1	1	1
総計	億円	367	366	411	336	353	351

(3) がん関連領域製品

		2010年3月期				2011年3月期	
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
Aloxi							
米国	億円 (百万米ドル)	95 (97)	95 (101)	87 (97)	106 (117)	88 (96)	85 (99)
Dacogen							
米国	億円 (百万米ドル)	42 (43)	37 (40)	38 (42)	38 (42)	43 (47)	41 (47)
Fragmin							
米国	億円 (百万米ドル)	32 (33)	31 (33)	37 (41)	46 (50)	43 (47)	42 (49)
その他	億円	29	30	27	30	28	24
総計	億円	197	193	188	220	203	192

(4) ヒュミラ

		2010年3月期				2011年3月期	
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
日本	億円	12	16	20	18	26	30
アジア	億円	5	5	6	7	8	8
総計	億円	17	21	26	25	35	38

7. 個別情報

1) 個別財務ハイライト

(1) 損益計算書項目

	第2四半期累計			通期	
	2010年	2011年	前年同期比 %	2010年	2011年
	3月期	3月期		3月期	3月期(予)
売上高	2,185	2,359	107.9	4,447	4,550
売上原価	414	454	109.6	823	900
研究開発費	756	635	84.0	1,453	1,310
販売費・一般管理費	623	627	100.7	1,239	1,320
営業利益	393	643	163.7	933	1,020
経常利益	363	603	166.1	886	945
四半期(当期)純利益	265	407	153.6	573	655

*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

(2) キャッシュ・フロー計算書項目

	第2四半期累計			通期
	2010年	2011年	増減額	2010年
	3月期	3月期		3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	324	707	382	715
投資活動によるキャッシュ・フロー	△159	△241	△82	△313
財務活動によるキャッシュ・フロー	△154	△433	△279	△387
現金及び現金同等物の期末残高	113	149	36	117
フリー・キャッシュ・フロー	272	659	387	583

*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(買収などを含む))

(3) 貸借対照表項目

	2010年		増減額
	3月末	9月末	
総資産	9,511	9,639	128
負債	4,498	4,480	△18
社債	1,200	1,200	0
借入金	2,340	2,140	△200
純資産	5,013	5,159	146
自己資本	5,006	5,151	145
自己資本比率(%)	52.6	53.4	0.8

2) 売上高の状況

	第2四半期累計			(億円)
	2010年 3月期	2011年 3月期	前年同期比 %	通期 2010年 3月期
売上高	2,185	2,359	107.9	4,447
医療用医薬品	1,437	1,525	106.1	
一般用医薬品等	97	98	101.2	
工業所有権等収益	380	447	117.6	
医薬品輸出	263	281	106.9	
その他	8	8	93.4	

8. 株式の状況

1) 発行株式数・株主数の状況

2010年9月30日現在

発行可能株式総数	発行済株式の総数	自己株式数	株主数	株主1人当たりの平均持株数
1,100,000,000株	296,566,949株	11,629,885株	99,986	2,966株

*発行済株式の総数は自己株式数を含めて表示しております。

2) 大株主の状況

2010年9月30日現在

株主名	持株数	持株比率 %
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	16,398千株	5.53
日本生命保険相互会社	15,344千株	5.17
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	14,652千株	4.94
株式会社埼玉りそな銀行	12,398千株	4.18
ジェーピー モルガン チェース バンク 385147	7,993千株	2.70
エーザイ従業員持株会	6,816千株	2.30
住友生命保険相互会社	5,015千株	1.69
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	4,982千株	1.68
株式会社みずほコーポレート銀行	4,680千株	1.58
全国共済農業協同組合連合会	4,521千株	1.52

*自己株式は11,629千株（3.92%）であり、議決権がないため除いております。

*株式数は千株未満を切捨てて表示しております。

3) 所有者別株主数推移

	2010年 3月末	構成比 %	2010年 9月末	構成比 %	増減
金融機関	193	0.3	206	0.2	13
金融商品取引業者（証券会社）	55	0.1	74	0.1	19
その他の法人	1,126	1.5	1,229	1.2	103
外国法人等	525	0.7	502	0.5	△23
個人・その他	74,285	97.5	97,974	98.0	23,689
自己株式	1	0.0	1	0.0	0
合計	76,185	100.0	99,986	100.0	23,801

4) 所有者別所有株式数推移

	2010年 3月末	構成比 %	2010年 9月末	構成比 %	増減
金融機関	130,057千株	43.9	126,171千株	42.5	△3,885千株
金融商品取引業者（証券会社）	10,536千株	3.6	8,511千株	2.9	△2,025千株
その他の法人	22,201千株	7.5	22,774千株	7.7	572千株
外国法人等	61,655千株	20.8	51,777千株	17.5	△9,878千株
個人・その他	60,486千株	20.4	75,701千株	25.5	15,215千株
自己株式	11,629千株	3.9	11,629千株	3.9	0千株
合計	296,566千株	100.0	296,566千株	100.0	—

*株式数は千株未満を切捨てて表示しております。

5) 所有株数別株主数推移

	2010年 3月末	構成比 %	2010年 9月末	構成比 %	増減
100万株以上	53	0.1	46	0.0	△7
10万～100万株未満	154	0.2	154	0.2	0
1万～10万株未満	867	1.1	999	1.0	132
1,000～1万株未満	14,712	19.3	18,967	19.0	4,255
100～1,000株未満	55,471	72.8	74,605	74.6	19,134
100株未満	4,928	6.5	5,215	5.2	287
合計	76,185	100.0	99,986	100.0	23,801

6) 所有株数別分布推移

	2010年 3月末	構成比 %	2010年 9月末	構成比 %	増減
100万株以上	186,231千株	62.8	172,501千株	58.2	△13,729千株
10万～100万株未満	45,408千株	15.3	44,256千株	14.9	△1,151千株
1万～10万株未満	21,357千株	7.2	23,113千株	7.8	1,756千株
1,000～1万株未満	30,290千株	10.2	38,403千株	12.9	8,113千株
100～1,000株未満	13,098千株	4.4	18,107千株	6.1	5,008千株
100株未満	181千株	0.1	184千株	0.1	3千株
合計	296,566千株	100.0	296,566千株	100.0	—

*株式数は千株未満を切捨てて表示しております。

9. 子会社・関連会社

1) 連結子会社(48社)

(1) 海外(37社)

2010年9月30日現在

会社名	所在地	資本金または 出資金	議決権の 所有割合 %	主な事業内容
Eisai Corporation of North America	米国 ニュージャージー州	3,416,700 千USD	100.00	米州持株会社
Morphotek, Inc.	米国 ペンシルバニア州	355,000 千USD	100.00	医薬品の研究開発
Eisai Inc.	米国 ニュージャージー州	151,600 千USD	100.00	医薬品の研究開発・製造・販売
Eisai Machinery U.S.A. Inc.	米国 ニュージャージー州	1,000 千USD	100.00	製薬用機械の販売
Eisai Ltd.	カナダ オンタリオ州	10,000 千CAD	100.00	—
Eisai Europe Ltd.	英国 ハートフォード州	184,137 千GBP	100.00	欧州統括・持株会社
Eisai Ltd.	英国 ハートフォード州	46,008 千GBP	100.00	医薬品の研究開発・販売
Eisai Manufacturing Ltd.	英国 ハートフォード州	32,300 千GBP	100.00	医薬品の製造
Eisai GmbH	ドイツ フランクフルト	7,669 千EUR	100.00	医薬品の販売
Eisai Machinery GmbH	ドイツ ケルン	1,278 千EUR	100.00	製薬用機械の製造・販売
Eisai S.A.S.	フランス パリ	19,500 千EUR	100.00	医薬品の製造・販売
Eisai B.V.	オランダ アムステルダム	540 千EUR	100.00	医薬品の製造・販売
Eisai Farmacéutica S.A.	スペイン マドリッド	4,000 千EUR	100.00	医薬品の販売
Eisai S.r.l.	イタリア ミラノ	3,500 千EUR	100.00	医薬品の販売
Eisai Pharma AG	スイス チューリッヒ	3,000 千CHF	100.00	医薬品の販売
Eisai AB	スウェーデン ストックホルム	10,000 千SEK	100.00	医薬品の販売
Eisai Farmacéutica, Unipessoal Lda.	ポルトガル リスボン	4,000 千EUR	100.00	医薬品の販売
Eisai SA/NV	ベルギー ブリュッセル	7,000 千EUR	100.00	—
Eisai GesmbH	オーストリア ウィーン	2,000 千EUR	100.00	医薬品の販売
Eisai Asia Regional Services Pte. Ltd.	シンガポール	26,400 千SGD	100.00	アジア持株会社
Eisai (Singapore) Pte. Ltd.	シンガポール	300 千SGD	100.00	医薬品の販売
Eisai Clinical Research Singapore Pte. Ltd.	シンガポール	10 千SGD	100.00	医薬品の研究開発
衛材(中国)薬業有限公司	中国 江蘇省	374,205 千人民元	100.00	アジア統括、医薬品の製造・販売
衛材機械科技発展(上海)有限公司	中国 上海	200 千USD	100.00	製薬用機械の販売支援・メンテナンス
Eisai (Hong Kong) Co., Ltd.	中国 香港	500 千HKD	100.00	医薬品の販売
PT Eisai Indonesia	インドネシア ジャカルタ	5,000 千USD	100.00	医薬品の製造・販売
Eisai (Malaysia) Sdn. Bhd.	マレーシア ペタリンジャヤ	470 千MYR	100.00	医薬品の販売
Eisai (Thailand) Marketing Co., Ltd.	タイ バンコク	11,000 千THB	49.91	医薬品の製造・販売
衛采製薬股份有限公司	台湾 台北	270,000 千TWD	100.00	医薬品の製造・販売
Eisai Korea Inc.	韓国 ソウル	3,512 百万KRW	100.00	医薬品の販売
HI-Eisai Pharmaceutical Inc.	フィリピン マニラ	56,250 千PHP	50.00	医薬品の製造・販売
Eisai Pharmatechnology & Manufacturing Pvt. Ltd.	インド アンドラ・プラデシュ州	2,404 百万INR	100.00	医薬品の工業化研究・製造
Eisai Pharmaceuticals India Pvt. Ltd.	インド マハラシュトラ州	160 百万INR	100.00	医薬品の製造・販売
Eisai Australia Pty. Ltd.	オーストラリア シドニー	1,000 千AUD	100.00	—

(その他3社)

*当社の連結子会社は衛材(中国)薬業有限公司(12月決算)と衛材機械科技発展(上海)有限公司(12月決算)を除き3月決算であります。

なお、両連結子会社は連結決算日での仮決算を行っております。

*Eisai (Thailand) Marketing Co., Ltd.、HI-Eisai Pharmaceutical Inc. の持分は100分の50以下ではありますが、実質的に支配しているため、連結子会社としております。

*2010年4月に医薬品販売子会社であるEisai Ltd.をカナダに設立いたしました。

*2010年9月にEisai London Research Laboratories Ltd.の清算が終了いたしました。

*その他3社はEisai Inc.の子会社であり、連結の範囲に含めております。

*資本金または出資金は切捨てて表示しております。

(2) 国内 (11社)

2010年9月30日現在

会社名	所在地	資本金	議決権の 所有割合 %	主な事業内容
三光純薬株式会社	東京都千代田区	5,262 百万円	100.00	診断用医薬品等の製造・販売
サンノーバ株式会社	群馬県太田市	926 百万円	80.02	医薬品の製造・販売
エルメッド エーザイ株式会社	東京都豊島区	450 百万円	100.00	医薬品の販売
エーザイフード・ケミカル株式会社	東京都中央区	101 百万円	100.00	食品添加物・化学品等の販売
エーザイマシナリー株式会社	東京都文京区	100 百万円	100.00	製薬用機械等の製造・販売
株式会社カン研究所	兵庫県神戸市	70 百万円	100.00	医薬品の研究開発
エーザイ物流株式会社	神奈川県厚木市	60 百万円	100.00	医薬品の搬送
株式会社パルマビーズ研究所	東京都千代田区	50 百万円	100.00	診断用医薬品等の研究開発
エーザイ・アール・アンド・ディー・ マネジメント株式会社	東京都文京区	12 百万円	100.00	医薬品の研究開発の管理・運営
株式会社サンブラネット	東京都文京区	455 百万円	84.90	業務サービス、給食、印刷、 不動産の管理
エーザイ生科研株式会社	熊本県西原村	50 百万円	70.39	農業用資材の製造・販売

*資本金は切捨てて表示しております。

2) 持分法適用関連会社 (1社)

2010年9月30日現在

会社名	所在地	資本金	議決権の 所有割合 %	主な事業内容
ブラック・エーザイ株式会社	東京都文京区	340 百万円	49.00	造影剤の輸入・製造・販売

*ブラック・エーザイ株式会社は12月決算であります。

*資本金は切捨てて表示しております。

10. 従業員数

1) 連結従業員数

	(人)			
	2008年 3月末	2009年 3月末	2010年 3月末	2010年 9月末
連結期末従業員数	10,686	10,977	11,415	11,653
日本	5,453	5,592	5,675	5,709
米国	2,699	2,647	2,701	2,562
欧州	861	951	1,015	1,045
アジア他	1,673	1,787	2,024	2,337

2) 個別従業員数

	(人)			
	2008年 3月末	2009年 3月末	2010年 3月末	2010年 9月末
個別期末従業員数	4,137	4,308	4,367	4,372
生産	800	801	774	764
研究	1,123	1,174	1,236	1,210
販売・管理	2,214	2,333	2,357	2,398

*期末従業員数は、就業人員数（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む）を表示しております。

11. 主なイベント

年月	概要
2010年4月	<ul style="list-style-type: none"> Almirall社と、上部消化管機能改善剤「cinitapride」の中国におけるライセンス契約を締結 <4月16日リリース> 帯状疱疹後神経痛治療剤「リリカ カプセル」、日本で製造販売承認を取得 <4月16日リリース>
2010年5月	<ul style="list-style-type: none"> プロトンポンプ阻害剤「パリエット」、日本で逆流性食道炎に関する1日2回投与の用法・用量の追加を申請 <5月6日リリース> てんかん治療剤「ルフィナマイド（一般名）」、日本でレノックス・ガスター症候群（希少疾患）を対象としたフェーズⅢ試験を開始 <5月7日リリース> カナダに医薬品販売子会社を設立 <5月11日リリース> 頻脈性不整脈治療剤「タンボコール錠」、日本で小児における効能・効果および用法・用量の追加承認を取得 <5月13日リリース> 当社使用人に対してストックオプションとして新株予約権を発行する件 <5月14日リリース> 米国ノース・カロライナ工場に抗がん剤の注射剤生産棟を開設 <5月20日リリース> 米国臨床腫瘍学会年次総会で抗がん剤「E7389（エリブリン）」の局所進行性・転移性乳がんに対する最新のフェーズⅢ試験結果を中心にエーザイのがん領域の開発品・製品に関する最新試験データを発表 <5月24日リリース>
2010年6月	<ul style="list-style-type: none"> 抗がん剤「E7389（エリブリン）」、米国で優先審査品目に指定 <6月1日リリース> プロトンポンプ阻害剤「アシフェックス エクステンドリリース50 mg製剤」、米国において承認申請が受理 <6月3日リリース> 抗がん剤「E7389（エリブリン）」、局所進行性・転移性乳がん患者様を対象としたフェーズⅢ試験において全生存期間を延長 <6月7日リリース> 米国子会社Eisai Inc.、スイスのHelsinn Healthcare S.A.と新規の制吐剤配合剤に関する米国におけるライセンス契約を締結 <6月9日リリース> 帯状疱疹後神経痛治療剤「リリカ カプセル」、日本で新発売（6月22日発売） <6月11日リリース> ストックオプション（新株予約権）の割当に関するお知らせ <6月18日リリース> プロトンポンプ阻害薬「パリエット」、日本で3剤併用によるヘリコバクター・ピロリ除菌療法の効能・効果の追加承認を取得 <6月18日リリース> 抗がん剤「E7389（エリブリン）」、日本で優先審査品目に指定 <6月23日リリース> プロトンポンプ阻害剤「パリエット」、日本で非びらん性胃食道逆流症に関する効能・効果および用法・用量の追加承認を取得 <6月24日リリース> 1日1回1錠で効く速崩タイプの乗物酔い薬「トラベルミン 1」を日本で新発売（6月30日発売） <6月29日リリース>
2010年7月	<ul style="list-style-type: none"> 米国子会社Eisai Inc.、米国のArena Pharmaceuticals, Inc.のスイス子会社Arena Pharmaceuticals GmbHと肥満症治療剤「lorcaserin」に関する米国におけるライセンス契約を締結 <7月1日リリース> ストックオプション（新株予約権）の発行内容等確定に関するお知らせ <7月5日リリース> 肥満症治療剤「lorcaserin」に関する有意な体重減少および減少後の体重維持改善を示した2年間のBLOOM試験結果が<i>New England Journal of Medicine</i>誌に掲載 <7月15日リリース> てんかん治療剤「BANZEL」、米国において経口懸濁液の剤形追加承認申請が受理 <7月20日リリース> 中等度・高度アルツハイマー型認知症に対する高用量製剤「アリセプト錠23mg」、米国で承認を取得 <7月24日リリース> 当社企業価値・株式共同の利益の確保に関する対応方針（買収防衛策）の継続について <7月30日リリース>

年月	概要
2010年8月	<ul style="list-style-type: none"> AMPA受容体拮抗剤「E2007（ペランパネル）」、てんかん患者様を対象としたフェーズⅢ試験で主要評価項目を達成 <8月24日リリース> ヒト型抗ヒトTNFαモノクローナル抗体「ヒュミラ」、日本で若年性特発性関節炎の効能・効果を追加申請 <8月30日リリース> 抗がん剤「E7389（エリブリン）」、米国食品医薬品局（FDA）による新薬承認審査終了目標日の延長について <8月30日リリース>
2010年9月	<ul style="list-style-type: none"> アルツハイマー型認知症の原因とされる神経毒性を有するプロトフィブリルをターゲットとする新規モノクローナル抗体「BAN2401」、米国で臨床試験を開始 <9月2日リリース> 速効型インスリン分泌促進薬「グルファスト」、中国で新発売 <9月3日リリース> 「Symbenda（ベンダムスチン塩酸塩）」、シンガポールで低悪性度非ホジキンリンパ腫および慢性リンパ性白血病の効能・効果で新発売 <9月7日リリース> 不眠症治療剤「SEP-190」、日本における臨床試験で有効性および安全性を確認、2010年度中に新薬承認申請を予定 <9月15日リリース> 肥満症治療剤「lorcaserin」に関する米国食品医薬品局（FDA）諮問委員会の結果を発表 <9月17日リリース> アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」のパッチ製剤（週1回投与製剤）、米国食品医薬品局（FDA）が新薬承認申請を受領 <9月17日リリース> 株式会社アネロファーマ・サイエンスと、ピフィズス菌を用いた新規抗がん製剤「APSO01」およびデリバリー技術に係る契約を締結 <9月29日リリース> 株式会社ブレインファクトリーと、抗真菌剤「ラブコナゾール・プロドラッグ」に関して日本を対象としたライセンス契約を締結 <9月30日リリース>
2010年10月	<ul style="list-style-type: none"> 英国国立医療技術評価機構（NICE）が軽度アルツハイマー型認知症患者様にとって重要な提案を行う - 新ガイドランス（案）の提示 <10月7日リリース> 米国食品医薬品局（FDA）が肥満症治療剤「lorcaserin」の新薬承認申請に関して審査完了報告通知を発行 <10月23日リリース> 抗がん剤「トリアキシン」、日本で再発又は難治性の低悪性度B細胞性非ホジキンリンパ腫ならびにマントル細胞リンパ腫を効能・効果として承認を取得 <10月27日リリース> 末梢性神経障害性疼痛治療剤「リリカ カプセル」、日本で帯状疱疹後神経痛にかえて、より広い末梢性神経障害性疼痛という効能・効果を新たに取得 <10月27日リリース> 肥満症治療剤「KES524」、日本で製造販売承認申請を取り下げ <10月28日リリース>

12. 主要開発品

1) 日米欧の開発品

<開発品一覧>

品目	効能効時 *1	開発ステージ	領域
承認取得品			
タンボコール (小児における頻脈性不整脈)	効能、用法	(日) 承認	血管・免疫反応
バリエット (3剤併用のヘリコバクター・ピロリ除菌療法の追加適応)	効能	(日) 承認	消化器
バリエット (非びらん性胃食道逆流症)	効能、用法	(日) 承認	消化器
○ アリセプト (高用量製剤<23mg錠>)	用法、剤形	(米) 承認	神経
○ ソネグラン (口腔内崩壊錠)	剤形	(欧) 承認	神経
申請中・申請準備中開発品			
アリセプト (脳血管性認知症)	効能	(米) 申請 (欧) 申請準備中	神経
E2014 (癲癇斜頸)		(日) 申請	神経
E7389 (乳がん)		(日、米、欧、スイス、シンガポール) 申請	がん・支持療法
ヒュミラ (クローン病)	効能	(日) 申請	血管・免疫反応
ヒュミラ (強直性脊椎炎)	効能	(日) 申請	血管・免疫反応
○ バリエット/アシフェックス (エクステンドリリリース 50mg 製剤)	剤形	(米) 申請 (欧) 申請	消化器
バリエット (逆流性食道炎)	用法	(日) 申請	消化器
○ BANZEL (経口懸濁液)	剤形	(米) 申請	神経
○ ヒュミラ (若年性特発性関節炎)	効能	(日) 申請	血管・免疫反応
ワーファリン (顆粒剤)	剤形	(日) 申請	血管・免疫反応
○ ワーファリン (小児における用法・用量)	用法	(日) 申請	血管・免疫反応
臨床試験中開発品			
E2007 (てんかん)		(米欧) PⅢ (日) PⅡ	神経
E2080 (レノックスガスター症候群)		(日) PⅢ	神経
E5564 (重症敗血症)		(国際共同試験) PⅢ	血管・免疫反応
E6014 (口腔粘膜炎)		(米) PⅢ	がん・支持療法
MORAb-003 (卵巣がん)		(国際共同試験) PⅢ	がん・支持療法
SEP-190 (不眠症)		(日) PⅢ	神経
T-614 (関節リウマチ)		(日) PⅢ	血管・免疫反応
ソネグラン (てんかん小児適応)	効能	(欧) PⅢ	神経
ソネグラン (てんかん単剤療法)	効能	(欧) PⅢ	神経
Dacogen (急性骨髄性白血病(AML))	効能	(米) PⅢ	がん・支持療法
ヒュミラ (関節の構造的損傷の防止)	効能	(日) PⅢ	血管・免疫反応
E0302 (筋萎縮性側索硬化症(ALS))	効能	(日) PⅡ/Ⅲ	神経
E7101 (子宮頸部異形成)		(米) PⅡ/Ⅲ	がん・支持療法
AS-3201 (糖尿病性神経障害)		(米欧) PⅡ/Ⅲ	神経
ヒュミラ (潰瘍性大腸炎)	効能	(日) PⅡ/Ⅲ	血管・免疫反応
E2007 (神経因性疼痛)		(米欧) PⅡ	神経
E2007 (多発性硬化症)		(欧) PⅡ	神経
E2007 (片頭痛予防)		(米) PⅡ	神経
E5501 (特発性血小板減少性紫斑病(ITP))		(米) PⅡ	がん・支持療法
E5501 (肝疾患に伴う血小板減少症(TLD))		(米) PⅡ	がん・支持療法
E5555 (急性冠症候群)		(日米欧) PⅡ	血管・免疫反応
E5555 (アテローム血栓症)		(日米欧) PⅡ	血管・免疫反応
E6201 (乾癬)		(米欧) PⅡ	血管・免疫反応
E7080 (甲状腺がん)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
E7080 (子宮内膜がん)		(米) PⅡ	がん・支持療法
E7080 (メラノーマ)		(米) PⅡ	がん・支持療法
E7389 (非小細胞肺癌がん)		(米) PⅡ	がん・支持療法
E7389 (前立腺がん)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
E7389 (肉腫)		(欧) PⅡ	がん・支持療法
E7820 (大腸がん)		(米) PⅡ	がん・支持療法
E7850 (前立腺がん等)		(米) PⅡ	がん・支持療法
MORAb-009 (中皮腫)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
ONTAK (メラノーマ)	効能	(米) PⅡ	がん・支持療法
アリセプト (レビー小体型認知症)	効能	(日) PⅡ	神経
バリエット (機能性ディスペプシア)	効能	(日) PⅡ	消化器

・ KES524 (肥満症) の日本における申請を取り下げるとともに、開発を中止しました。

*1 効能：効能効果追加、用法：用法用量追加、剤形：剤形追加

○：2010年7月以降の進捗

P = Phase：臨床試験段階

(1) がん、支持療法

開発品コード：**E7389** 一般名：**エリブリン** (抗がん剤/微小管ダイナミクス阻害剤)

【概要】 クロイソカイメン由来のハリコンドリンBの合成誘導体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。乳がんをはじめ、各種固形がんの効果を目指しています。米国、日本で優先審査品目に指定されました。

乳がん	スイス 申請 (2009年7月) シンガポール 申請 (2009年7月) 米国 申請 (2010年3月) 受理 (同年5月) 欧州 申請 (2010年3月) 受理 (同年5月) 日本 申請 (2010年3月)	注射剤
非小細胞肺癌	米国 P II	注射剤
前立腺がん	米国 P II 欧州 P II	注射剤
肉腫	欧州 P II	注射剤

開発品コード：**E7820** (抗がん剤/ α 2インテグリン発現抑制剤)

【概要】 血管内皮細胞の接着分子であるインテグリン α 2の発現抑制作用により血管新生を阻害します。

大腸がん	米国 P II	経口剤
------	---------	-----

開発品コード：**E7080** (抗がん剤/VEGF受容体チロシンキナーゼ阻害剤)

【概要】 血管内皮増殖因子 (VEGF) の受容体であるVEGFR2のチロシンキナーゼを阻害する、血管新生阻害剤です。各種固形がんの効果を目指しています。

甲状腺がん	米国 P II 欧州 P II	経口剤
子宮内膜がん	米国 P II	経口剤
メラノーマ	米国 P II	経口剤

開発品コード：**MORAb-003** 一般名：**farletuzumab** (抗がん剤/モノクローナル抗体)

【概要】 葉酸受容体 α (FRA) に対するヒト化IgG1抗体です。FRAが過剰発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。欧米に続き、日本で卵巣がんを対象としたフェーズIII試験を開始しました。本試験は国際共同試験として取り組んでいます。

卵巣がん	国際共同試験 P III	2012年度申請予定	注射剤
------	--------------	------------	-----

開発品コード：**MORAb-009** 一般名：**amatuximab** (抗がん剤/モノクローナル抗体)

【概要】 メソセリンに対するキメラ型IgG1抗体です。メソセリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。

中皮腫	米国 P II 欧州 P II	注射剤
-----	--------------------	-----

製品名：**Dacogen** 開発品コード：**E7373** 一般名：**デシタピン** (DNAメチル化阻害剤)

【概要】 DNAメチル化阻害による細胞分化誘導作用を有します。すでに米国で骨髄異形成症候群 (MDS) 治療剤として承認を取得しています。

【効能・効果追加】 急性骨髄性白血病 (AML)	米国 P III	2010年度申請予定	注射剤
--------------------------	----------	------------	-----

開発品コード：**E7850** 一般名：**irofulven** (抗がん剤/DNA合成阻害剤)

【概要】 DNA合成阻害により各種固形がんの効果を目指しています。

前立腺がん等	米国 P II	注射剤
--------	---------	-----

○：2010年7月以降の進捗

*：申請予定時期が前回から変更になったことを示しております。

開発品コード：E5501/AKR-501 (血小板減少症治療剤/トロンボポエチン受容体作動剤)

【概要】トロンボポエチン受容体のアゴニストで、血小板増加を促進させる経口の新規化合物です。血小板減少を示す病状への効果を期待しています。

特発性血小板減少性紫斑病 (ITP)	米国 P II	2012年度申請予定	経口剤
肝疾患に伴う血小板減少症 (TLD)	米国 P II		経口剤

開発品コード：E7101 一般名：amolimogene bepiplasmid (子宮頸部異形成治療剤/治療用DNAワクチン)

【概要】子宮頸部異形成等を引き起こす原因の1つであるヒトパピローマウィルス (HPV) に対する、治療用DNAワクチンです。

子宮頸部異形成	米国 P II/III		注射剤
---------	-------------	--	-----

開発品コード：E6014 一般名：グルタミン (口腔粘膜炎症治療剤/グルタミン懸濁液)

【概要】グルタミン懸濁液製剤です。化学療法に伴う口腔粘膜炎症に対して保護作用を示します。

口腔粘膜炎症	米国 P III		外用剤
--------	----------	--	-----

製品名：ONTAK 開発品コード：E7272 一般名：denileukin diftitox

(抗がん剤/インターロイキン2受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤)

【概要】インターロイキン2 (IL-2) の受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤であり、細胞表面上のIL-2受容体と特異的に結合し、細胞内に移行したジフテリア毒素がタンパク質合成を阻害します。すでに米国でCD25 (IL-2受容体の構成要素) 陽性の皮膚T細胞リンパ腫治療剤として承認を取得しています。

【効能・効果追加】メラノーマ	米国 P II		注射剤
----------------	---------	--	-----

(2) 神経

製品名：アリセプト 開発品コード：E2020 一般名：ドネペジル (アルツハイマー型認知症治療剤)

【概要】神経伝達物質のアセチルコリンを分解する酵素であるアセチルコリンエステラーゼを阻害することにより、脳内アセチルコリン濃度を高め、アルツハイマー型認知症 (AD) の認知症症状の進行を抑制します。軽度および中等度のAD治療剤として、すでに世界90カ国以上で承認されており、米国、日本、カナダ、中南米やアジアの一部の国などでは高度ADにも承認されています。

○ 【用法・用量、剤形追加】高用量製剤<23mg錠>	米国	承認 (2010年7月)	経口剤
【効能・効果追加】脳血管性認知症	米国 欧州	申請 (2002年9月) 受理 (同年11月) 申請準備中	経口剤
【効能・効果追加】レビー小体型認知症	日本	P II	経口剤

開発品コード：E2007 一般名：ペランパネル (AMPA受容体拮抗剤)

【概要】グルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPA受容体へのグルタミン酸の結合を選択的に阻害します。神経疾患に対し様々な効果を期待しています。

てんかん	米国 P III 欧州 P III 日本 P II	2011年度申請予定	経口剤
神経因性疼痛	米国 P II 欧州 P II		経口剤
多発性硬化症	欧州 P II		経口剤
片頭痛予防	米国 P II		経口剤

○：2010年7月以降の進捗

*：申請予定時期が前回から変更になったことを示しております。

開発品コード：**AS-3201** 一般名：**ラニレスタット**（糖尿病合併症治療剤／アルドース還元酵素阻害剤）

【概要】アルドース還元酵素を強力に阻害することにより細胞内のソルビトール蓄積を抑制します。糖尿病の代表的な合併症である糖尿病性神経障害の治療剤として開発を進めています。

糖尿病性神経障害	米国 PⅡ/Ⅲ 欧州 PⅡ/Ⅲ	経口剤
----------	--------------------	-----

製品名：**ソネグラン** 開発品コード：**E2090** 一般名：**ソニサミド**（てんかん治療剤）

【概要】幅広い抗てんかんスペクトラムを有し、忍容性の高いてんかん治療剤です。すでに成人部分てんかんを対象に併用療法の適応を取得しています。

○ 【剤形追加】口腔内崩壊錠	欧州 承認（2010年7月）	経口剤
【効能・効果追加】てんかん小児適応	欧州 PⅢ 2011年度申請予定	経口剤
【効能・効果追加】てんかん単剤療法	欧州 PⅢ 2011年度申請予定	経口剤

開発品コード：**E0302** 一般名：**メコバラミン**（筋萎縮性側索硬化症）

【概要】メコバラミン（生体内補酵素型ビタミンB₁₂）製剤であり、傷ついた末梢神経を修復する作用があります。すでに末梢性神経障害治療剤として広く使われており、新たに、筋萎縮性側索硬化症（ALS）治療剤をめざしています。

筋萎縮性側索硬化症（ALS）	日本 PⅡ/Ⅲ	注射剤
----------------	---------	-----

開発品コード：**E2014** 一般名：**B型ボツリヌス毒素**（痙性斜頸治療剤）

【概要】神経筋接合部でコリン作動性神経終末に作用し、アセチルコリンの遊離を阻害することで筋を弛緩させます。痙性斜頸治療剤をめざしています。

痙性斜頸	日本 申請（2006年12月）	注射剤
------	-----------------	-----

開発品コード：**SEP-190** 一般名：**エスゾピクロン**（不眠症治療剤／GABA-A受容体作動剤）

【概要】非ベンゾジアゼピン系に属するGABA-A受容体作動剤で、睡眠導入剤として、一過性不眠、短期不眠や高齢者の不眠に効果を期待しています。

不眠症	日本 PⅢ 2010年度申請予定	経口剤
-----	------------------	-----

製品名：**Inovelon(欧)／BANZEL(米)** 開発品コード：**E2080** 一般名：**ルフィナマイド**（てんかん治療剤）

【概要】新規構造のトリアゾール誘導体で、過剰電荷を帯びている脳内ナトリウムチャネルの活動を調節します。すでにレノックス・ガストー症候群の併用療法として、欧州では「Inovelon」、米国では「Banzel」のブランド名で承認を取得しております。

○ 【剤形追加】経口懸濁液	米国 申請（2010年4月）受理（同年7月）	経口剤
レノックス・ガストー症候群の併用療法	日本 PⅢ	経口剤

(3) 血管・免疫反応

製品名：**ヒュミラ** 開発品コード：**D2E7** 一般名：**アダリムマブ**（ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体）

【概要】ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体であり、自己免疫疾患の炎症反応に関わる中心的なサイトカインであるTNF α を中和します。日本では関節リウマチ、乾癬の適応を取得しています。

【効能・効果追加】クローン病	日本 申請（2009年9月）	注射剤
【効能・効果追加】強直性脊椎炎	日本 申請（2009年10月）	注射剤
○ 【効能・効果追加】若年性特発性関節炎	日本 申請（2010年8月）	注射剤
【効能・効果追加】関節の構造的損傷の防止	日本 PⅢ 2011年度申請予定	注射剤
【効能・効果追加】潰瘍性大腸炎	日本 PⅡ/Ⅲ 2011年度申請予定	注射剤

○：2010年7月以降の進捗

*：申請予定時期が前回から変更になったことを示しております。

開発品コード：E5564 一般名：エリトラン (重症敗血症治療剤/エンドトキシン拮抗剤)

【概要】 エンドトキシン拮抗作用により、炎症性サイトカインの遊離を阻害し、エンドトキシンによって引き起こされる臨床症状の発現を抑制します。

重症敗血症	国際共同治験 PⅢ	2010年度申請予定	注射剤
-------	-----------	------------	-----

開発品コード：E5555 (トロンビン受容体拮抗剤)

【概要】 トロンビン受容体 (PAR-1) と選択的に結合し、トロンビンが介在する血小板や血管平滑筋細胞の活性化を抑制し、血小板凝集抑制作用と平滑筋増殖抑制作用を示します。

急性冠症候群	米国 PⅡ	経口剤
	欧州 PⅡ	
	日本 PⅡ	
アテローム血栓症	米国 PⅡ	経口剤
	欧州 PⅡ	
	日本 PⅡ	

開発品コード：E6201 (新規MEK-1/MEKK-1キナーゼ阻害剤)

【概要】 新規MEK-1/MEKK-1キナーゼ阻害剤です。乾癬において、炎症性の細胞内シグナル伝達の抑制や皮膚の上皮細胞の異常増殖を抑制することによる効果を期待しています。

乾癬	米国 PⅡ	外用剤
	欧州 PⅡ	

開発品コード：T-614 一般名：イグラチモド (関節リウマチ治療剤)

【概要】 炎症性のサイトカインの産生および免疫グロブリン産生を抑制し、関節リウマチへの効果を期待しています。

関節リウマチ	日本 PⅢ	2011年度申請予定	経口剤
--------	-------	------------	-----

製品名：タンボコール 一般名：フレカイニド (頻脈性不整脈治療剤)

【概要】 心筋のナトリウムチャネル遮断作用によって頻脈性不整脈を抑制します。成人における頻脈性不整脈 (発作性心房細動・粗動、心室性) に加えて、小児における頻脈性不整脈 (発作性心房細動・粗動、発作性上室性、心室性) の承認を取得しました。

【効能・効果、用法・用量追加】 小児における頻脈性不整脈	日本	承認 (2010年5月)	経口剤
------------------------------	----	--------------	-----

製品名：ワーファリン 一般名：ワルファリンカリウム (経口抗凝固剤)

【概要】 ビタミンKに拮抗し、血液凝固因子の産生を阻害することにより抗凝固作用を示します。成人における血栓塞栓症の治療及び予防として一般的に広く使用されています。また本剤は、厚生労働省の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において、小児に対する医療上の有用性が高い品目として位置づけられ、小児に対する適応について申請しました。

【剤形追加】 顆粒剤	日本	申請 (2010年6月)	経口剤
------------	----	--------------	-----

○ 【用法・用量追加】 小児における用法・用量	日本	申請 (2010年9月)	経口剤
-------------------------	----	--------------	-----

○：2010年7月以降の進捗

*：申請予定時期が前回から変更になったことを示しております。

(4) 消化器

製品名：パリエット/アシフェックス 開発品コード：E3810 一般名：ラベプラゾール (プロトンポンプ阻害剤)

【概要】プロトンポンプ阻害作用に基づき、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、ヘリコバクター・ピロリ除菌などの承認を取得しています。			
【効能・効果、用法・用量追加】非びらん性胃食道逆流症	日本	承認 (2010年6月)	経口剤
【効能・効果追加】3剤併用による胃MALTリンパ腫、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、及び特発性血小板減少性紫斑病におけるヘリコバクター・ピロリの除菌療法	日本	承認 (2010年6月)	経口剤
【剤形追加】エクステンドリリース50mg製剤	○	米国 申請 (2010年3月) 受理 (同年6月) 欧州 申請 (2010年3月) 受理 (同年9月)	経口剤
【用法・用量追加】逆流性食道炎	日本	申請 (2010年4月)	経口剤
【効能・効果追加】機能性ディスペプシア	日本	P II	経口剤

○：2010年7月以降の進捗

*：申請予定時期が前回から変更になったことを示しております。

2) アジアの開発品

製品名：**グルファスト** 一般名：**ミチグリニド** (速効型インスリン分泌促進剤)

[概要] 膵臓のβ細胞スルフォニルウレア受容体と選択的に結合し、膵臓からのインスリン分泌を促進することによって血糖の低下作用を示します。＜キッセイ薬品からのライセンス品＞

2型糖尿病	承認：タイ、フィリピン 申請：インドネシア、マレーシア	経口剤
-------	--------------------------------	-----

製品名：**ガスモチン** 一般名：**モサプリド** (消化管運動機能改善剤)

[概要] 選択的なセロトニン(5-HT₄)受容体アゴニストによる消化管運動機能改善剤であり、アセチルコリン遊離の増大を介して消化管運動促進作用および胃排出促進作用を示します。＜大日本住友製薬からのライセンス品＞

機能的胃腸症	上市：タイ 承認：フィリピン 申請：マレーシア、ベトナム、ミャンマー、ラオス	経口剤
--------	--	-----

一般名：**クレブジン** (慢性B型肝炎治療剤)

[概要] DNAポリメラーゼ阻害による抗ウイルス作用に基づく慢性B型肝炎治療剤です。マレーシアで申請していましたが、当局より非承認の通知を受け取りました。＜ブグアン製薬からのライセンス品＞

慢性B型肝炎	上市：フィリピン(製品名 Revovir) 申請：インドネシア、タイ、インド 臨床試験中：中国 PⅢ	経口剤
--------	--	-----

製品名：**ユリーフ** 一般名：**シロドシン** (前立腺肥大症に伴う排尿障害治療剤)

[概要] 選択的α_{1A}受容体遮断剤であり、主に前立腺に存在するα_{1A}受容体を遮断することにより、前立腺の緊張を緩和して尿道抵抗を改善し、前立腺肥大症に伴う排尿障害を改善します。＜キッセイ薬品からのライセンス品＞

前立腺肥大症に伴う排尿障害	申請：シンガポール	経口剤
---------------	-----------	-----

○：2010年7月以降の進捗

*：申請予定時期が前回から変更になったことを示しております。